

第 6 5 回岡山県美容技術コンクール 競 技 要 綱

【洋装ブライダル競技の部】(モデル使用)

☆ 日 時 令和 7 年 6 月 1 6 日 (月)
選手受付 8 : 1 0 ~ 9 : 0 0
※時間厳守(遅れると受付ができない場合があります)

☆ 会 場 岡山市中区門田本町 4 丁目 1 番 1 6 号
岡 山 国 際 ホ テ ル

☆ 全競技に関する注意事項

- ①出場者は受付を済ませ必ず 9 時までに選手控室にて待機すること。
- ②出場取消しについては、特別な事情がない限り、1 週間前までに 組合事務所 (Tel 086-222-3221) に連絡のこと。
- ③エントリー料は如何なる理由があろうとも返金できません。
- ④参加賞 (T シャツ) 及び、お弁当はありません。
- ⑤各種目、エントリー者数が 3 名未満の場合、競技種目の除外等の規定を設けています。
- ⑥各種目、エントリー者数が 6 名未満の場合、優勝賞金の授与はありません。トロフィー及び賞状のみの授与となります。
- ⑦業務の都合上、電話でのお問い合わせ、質問等はお受けできません。ご質問等は、FAX 及び、下記アドレスの E メールでお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ> FAX : 086-223-7455
Email : info@ba-okayama.or.jp

☆ 全競技に関する禁止事項

- ①選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒または濃紺のスカートまたはスラックスとし、帽子は禁止する。靴はヒールの低いものとする。
- ②選手は、ガムを噛んだり、口の中に物を入れて出場してはならない。
- ③選手・モデルは控室以外で飲食してはならない。
- ④競技中、選手同士またはモデル・観客と会話等をしてはならない。
- ⑤競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑥競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ⑦控室は、受付終了後から閉会式終了後まで、監視員以外出入りは禁止です。
- ⑧館内禁煙です。喫煙所以外での喫煙はしないでください。
- ⑨ゴミの持ち帰り、後片付けなど社会人としてのマナーをお守りください。

(1) 出場資格 有資格者

(2) 競技時間	メイク (3 0 分)	}	控室にて作業	・・・	4 0 分
	ドレスフィッティング (1 0 分)				
	メイク	}	ステージ上にて作業	・・・	3 0 分
	ヘアの仕上げ				
	<審査>				

(3) 競技内容 ～ ヘアメイク、ウェディング・ドレスフィッティング ～

この競技は、「サロンワークを駆使して、ブライダル現場で生きる上品で若々しいイメージの洋装花嫁をつくる」をコンセプトとし、ドレスの色（ドレスに付けられたアクセサリーを含む）は挙式に相応しい範囲の白（ホワイト、オフホワイト、クリームは可、シルバー、ゴールドは不可）、ヘアスタイルはコンセプトに基づいたアップスタイルとする。

(4) 競技方法 競技は、「メイク、ドレスフィッティング」の作業を、監視委員立会いの下に控室で行い、「メイク、ヘアの仕上げ」の作業は競技ステージで行う。
 ※「メイク」の控室、競技ステージにおける作業配分は自由とする。

(5) 禁止事項（全日本美容技術選手権大会競技要綱に準ずる）

- ①モデルは競技中及び、控室等で選手の手助けをしてはならない。
- ②モデルのタトゥー（絵）及びアートメイクは禁止する。
- ③ベール、ブーケ、手袋は禁止する。
- ④モデルは競技開始前に、デコルテ、顔に化粧、パック（コットンパックを含む）がしてあってはならない。
- ⑤モデルは競技中はもとより、控室等にあっても化粧施術を禁止する。（アイテープ、つけまつ毛を使用する場合は、選手が決められたメイクの競技時間内（控室及び競技ステージ）でつけること。）
- ⑥助手の使用は一切認めない。（ただし、競技用具の搬出入のために、係員の指示に従い助手を指定した場所まで立ち入りさせることはさしつかえない。）
- ⑦競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない。
- ⑧審査中、モデルは指示された方向を向き、座ってポーズをとらなければならない。〔資料図参照〕

(6) 制限事項（全日本美容技術選手権大会競技要綱に準ずる）

- ①モデルは岡山県美容組合から提供されるケープを着用しなければならない。
- ②モデルのケープは、「メイク、ヘアの仕上げ」の競技時間内（30分）で取らなければならない。
- ③ドレスのトレーンは、競技スペース内におさまるものを選ばなければならない。〔資料図参照〕
- ④モデルの髪はブロッキングしていないダウンスタイルで競技ステージに入り、その状態から始めなければならない。
- ⑤ヘアピースの使用は禁止する。
- ⑥ヘアアクセサリー及びティアラを着ける場合は、競技ステージで、競技時間内（30分）で着けなければならない。
- ⑦イヤリング、ピアス、ネックレス類は、事前につけてあってもかまわない。（ただし、競技ステージでつける場合は、競技時間内（30分）でつけなければならない。）
- ⑧“ネオン”カラーを除き、カラーの選定は自由である。ただし、極端なものではなく、営業の範囲にとどまるものでなければならない。

(7) その他の注意事項

- ①モデルの髪に必要な事前準備（オリジナルセット等）をすませ会場入りしなくてはならない。
- ②競技に必要なすべての用具の使用を認める。
- ③控室及び競技ステージには、ドライヤー・電源の設備はない。
- ④控室での用具（敷物を含む）は、隣の選手の邪魔とならないよう、自分のスペース内できちんと整理されていなければならない。（控室には机とイスが用意される。）
- ⑤競技ステージで使用する用具は、全てケースに入れてモデルのひざの上に置かなければならない。（競技ステージには机は無くイスのみが用意される。）

(8) 競技用具の準備（選手が準備するもの）

- ①ウェディング・ドレス一式
- ②ヘア用具一式
- ③化粧用具一式
- ④卓上鏡
- ⑤必要な小物類
- ⑥敷物（控室でドレス着用時に床に敷く物）
- ⑦ケース（競技ステージで使用する用具を入れるもの）

(9) 審 査 技術性・調和性などを総合して審査を行う。

審査時のポーズ（椅子に座った状態）

